

学内リサイタル講座 ジョイント・リサイタル 第三公演

楓

～七人の楽師による美しい変化～

会場：洗足学園音楽大学 前田ホール

日時：2021年9月15日 水曜日

開演：18:00 / 会場：17:30

終演：20:00

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

曲目

- 1 奥 大樹 (Vo.) Pf. 谷川 明
R.レオンカヴァッロ /
歌劇《道化師》よりプロローグ
- 2 城戸 楓夏 (Pf.)
L.v.ベートーヴェン / ピアノ・ソナタ
第24番「テレゼ」作品78
F.ショパン / エチュード 作品10-5
- 3 松本 志絃音 (Vn.) Pf. 田中 麻紀
L.v.ベートーヴェン / ピアノとヴァイ
オリンのためのソナタ 第5番 へ長調
作品24 第1楽章
- 4 足立 柚寿 (Fl.) Pf. 伊藤 響子
S.プロコフィエフ / フルート・ソナタ
ニ長調 作品94 より 第1・4楽章

☼休憩☼

- 5 奥 大樹 (Vo.) Pf. 谷川 明
G.ロッシーニ / 歌劇《セヴィリアの理髪
師》より俺は町の何でも屋
G.ヴェルディ / 歌劇《ドン・カルロ》よ
り私の最期の日が来ました
- 6 片岡 夏望 (A.sax) Pf. 大嶋 千暁
F.デュクリュック /
ソナタ 嬰ハ調 第1・2・3楽章
- 7 鮎澤 莉香子 (A.sax) Pf. 原田 愛
P.ヒンデミット /
ヴァイオラ・ソナタ 作品11-4
- 8 近藤 花音 (Pi.)
T.ゴリンスキー / Luminosity

✿教授挨拶✿

本日は学内リサイタル講座「ジョイント・リサイタル」においでいただき御礼申し上げます。洗足学園音楽大学のメインステージの前田ホールで、大学4年間の集大成の演奏を披露するために選抜学生42名による6回のジョイント・リサイタルを開催する運びとなりました。各出演日の学生がそれぞれの思いで、プログラムや副題を決め、この日の為に準備をしまいにしました。専門コースの違いはあっても大きな会場で初めてのリサイタルを行う「責任と研究成果」を聴いていただければ大変な喜びとなります。出演学生が、その独自の構成と演出を競い、教員の講評審査を受けてこの舞台から巣立ち、現在は欧米各地に留学しコンクール入賞者や、国内外オーケストラ、教員、プレーヤーとして活躍する卒業生も多く、本学の講師として活躍するものもいるという喜ばしい実績を持っております。この演奏会を基に日本の、そして世界の楽壇へと羽ばたく彼らに応援の拍手をお願いいたします。

学内リサイタル講座 教授 渡部 亨

✿グループインスペクター挨拶✿

本日は「第3回ジョイント・リサイタル」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。この演奏会を開催するにあたり、ご尽力頂きました渡部先生を初めとする全ての皆様に心より御礼申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響から多くの演奏会が中止または延期となり、音楽を生の演奏で楽しめない期間が長く続きました。生の音楽には人を感動させる力があり、音楽本来の価値があると思います。出演者一同本日まで色々な思いを抱えながら準備をして参りました。本日演奏会を開催出来ることを大変嬉しく思っております。皆様に音楽の喜びを少しでもお伝え出来る演奏会となれば幸いです。

第3回学生代表 近藤 花音

出演者プロフィール

1. 奥 大樹 (Vo.)

これまでに声楽を小原一穂、千葉英二、牧野正人の各氏に師事。これまでG.フォーレ作曲「レクイエム」のバリトンソリストや朗読劇「天守物語」にて近江之丞桃六役等を務める。

2. 城戸 楓夏 (Pf.)

愛媛県出身。済美高等学校音楽専攻コース卒業。現在洗足学園音楽大学ピアノコース4年、学部3年次よりピアノ指導者養成クラスに在籍。これまでにピアノを上田秀子、大空佳穂里、井角知子の各氏に師事。現在ピアノを藤田尚、フィンガートレーニングを恩田明香の各氏に師事。

3. 松本 志絃音 (Vn.)

大阪府出身。向陽台高等学校卒業。これまでに澤和樹、曾我部千恵子、沼田園子、和波孝禧の各氏に師事。また、学内において竹澤恭子、ライナー・シュミット、フェディリコ・アゴステイーニ、の各氏に特別レッスンを受講。洗足学園音楽大学にオーケストラ特待生として在学中。

4. 足立 柚寿 (Fl.)

東京都出身。聖徳大学付属女子高等学校音楽科卒業。これまでにフルートを石河麗、北川森央、荒川洋、ピッコロを菅原潤、各氏に師事。室内楽を山根公男、安藤裕子に師事。

6 片岡 夏望 (A.sax)

北海道出身。北海道札幌手稲高等学校卒業。15歳からサクソフォンを始める。これまでにサクソフォンを太田裕子、佐藤淳一、平野公崇の各氏に師事。室内楽を大和田雅洋に師事。

7 鮎澤 莉香子 (A.sax)

山梨県出身。山梨県立山梨高等学校卒業。12歳からサクソフォンを始める。これまでにサクソフォンを加藤里志、平野公崇の各氏に師事。室内楽を貝沼拓実に師事。

8 近藤 花音 (Pi.)

埼玉県出身。芸術総合高等学校音楽科卒業。14歳からマリンバを始める。第23回"万里の長城"国際音楽コンクール第2位(1位なし)。これまでにマリンバ、打楽器を藤井里佳、藤井むつ子、中村祐子の各氏に師事。

曲目解説

1 奥 大樹 R.レオンカヴァッロ / 歌劇《道化師》よりプロローグ

レオンカヴァッロが作曲した歌劇《道化師》の冒頭にてトニオ役のバリトンによって歌われる前口上のアリア。幕が上がる前に登場し「人間が愛し合う姿や、憎しみ、悲しみの結末をご覧頂きましょう。しかし我々役者も血の通った人間であります。さあ、それでは開演です！」と前口上を述べる。

2 城戸 楓夏 L.v.ベートーヴェン / ピアノ・ソナタ 第24番「テレーゼ」作品78

この作品はテレーゼ・フォン・ブルンスヴィック伯爵令嬢に捧げられたことから、「テレーゼ」の愛称で親しまれている。2つの主題はとても優美なもので、展開部では第1主題が材料となっている。第2楽章ではソナタ形式とロンド形式を混合したような、独特な形式でスケルツォ風にも感じられる。

F.ショパン / エチュード 作品10-5

右手が黒鍵だけを用いて美しい装飾的奇型を奏するところから、黒鍵のエチュードとして知られている。黒鍵上で安定した敏速な動きが要求される華やかな曲である。

3 松本 志絃音

L.v.ベートーヴェン / ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第5番 へ長調 作品24 第1楽章

ベートーヴェンの時代のすぐ直前まで、ヴァイオリン・ソナタというのはピアノが主役でヴァイオリンが脇役のような「ヴァイオリンの序奏付きピアノ・ソナタ」といったスタイルの作品が多く見られた。しかし、第5番のソナタはピアノとヴァイオリンが完全に対等な関係となっている作品である。また、4楽章構成というのもこの時代のソナタとしては初めてだったことから、ヴァイオリン・ソナタの発展を試みていた事が伺える。

4 足立 柚寿 S.プロコフィエフ / フルート・ソナタ ニ長調 作品 94 より 第1・4 楽章

この曲はプロコフィエフが、管楽器のために書いた唯一のソナタである。ヴァイオリニストのオイストラフが、ヴァイオリン編曲を依頼し「ヴァイオリン・ソナタ第2番」として世界に広まった。全4楽章からなり、戦時中に書かれたとは思えないほどエネルギー溢れた曲である。今回は第1・4楽章のみの演奏だが、未来的で独創性のあるプロコフィエフの音楽の世界を、味わいながら聴いていただきたい。

5 奥 大樹 G.ロッシーニ / 歌劇《セヴィリアの理髪師》より 俺は町の何でも屋

ロッシーニが作曲した歌劇《セヴィリアの理髪師》の中でこのオペラのタイトルにもなっている理髪師フィガロが登場する際に歌うアリア。

G.ヴェルディ / 歌劇《ドン・カルロ》より 私の最期の日が来ました

ヴェルディが作曲した歌劇《ドン・カルロ》の終盤でロドリーゴが歌うアリア。「ロドリーゴの死」としても知られている。

6 片岡 夏望 F.デュクリュック / ソナタ 嬰ハ調 第1・2・3 楽章

この作品は、第1楽章のピアノの重々しい低音から始まり、暗く怪しい主題が次第に華やかに展開していく。第2楽章はクリスマスという意味の副題がつけられており、印象的なモチーフを重ねることで表情の変化を楽しめる楽章である。第3楽章は糸紡ぎという副題の通りに糸車が回っている様子を音で表しており、軽快な連符が特徴的である。

7 鮎澤 莉香子 P.ヒンデミット / ヴィオラ・ソナタ 作品 11-4

パウル・ヒンデミット（1895-1963）はドイツ出身の作曲家、指揮者、ヴィオラ奏者である。モダニストとして知られるヒンデミットだが、今回演奏する曲からは、一楽章の「幻想曲」や、「穏やかに、民謡のように飾らずに」と指示された二楽章から、ロマン派的な音楽を感じとることができるだろう。ヒンデミットの印象を覆すこの作品を、是非お楽しみ頂きたい。

8 近藤 花音 T.ゴリンスキー / Luminosity

トマスゴリンスキーはポーランドの作曲家、マリンバ奏者、打楽器奏者である。この曲は2楽章形式になっており、ルミノシティとは光度のことである。1楽章のゆったりとした長く広いフレージングに対し、2楽章では複雑なリズムと拍子によって展開され、技巧的なテクニクが必要とされる。楽章でのカラーの違いや、マレットでの変化に注目して頂きたい。

R.レオンカヴァツロ作曲 歌劇「道化師」より ~プロローグ~ ごめんなすって皆様方

Si pu ò?... Si pu ò?...
Signore! Signori!... Scusatemi
se da sol me presento.
Io sono il Prologo:
Poich é in iscena ancor
le antiche maschere mette l'autore,
in parte ei vuol riprendere
le vecchie usanze,
e a voi di nuovo inviami.
Ma non per dirvi come pria:
《le lacrime che noi versiam son false!
Degli spasimi e de' nostri martir non
allarmatevi》 No! No!
L'autore ha cercato invece pingervi
uno squarcio di vita.
Egli ha per massima sol
che l'artista è un uom
e che per gli uomini scrivere ei deve.
Ed al vero ispiravasi.
Un nido di memorie
in fondo a l'anima cantava un giorno,
ed ei con vere lacrime scrisse,
e i singhiozzi il tempo gli battevano!

よろしいですか？
淑女の皆様 紳士の皆様
私めが一人で登場いたしますことを
お許してください 私は前口上役でございます
今から 舞台の上に昔ながらの仮面劇を作者は登
場させます。
故にその一部として昔のやり方を復活させてみよう
というのです
そして皆様の前に私めが登場したというわけです
しかし昔のような口上を述べるためではありません。
「私どもがここで流す涙は嘘でございます！
私どもの痛みも苦しみもご心配にも及びませぬ！」と
違う！そうではないのです！
作者が試みしたのはその代わりに人生の断片を
描き出すことです
彼の信条でございます 役者もまた一人の人間であ
ることを そしてその人間のために書かねばならない
ということが
そしてこの話は真実より生み出されたものなのです
思い出の葉 魂の奥にあるものですがそれがあ
る日
突然歌いだしたのです
そこで真実の涙を流しながら書き
そして嗚咽で拍子をとりました！

Dunque, vedrete amar
s ì come s'amano gli esseri umani;
vedrete de l'odio i tristi frutti.
Del dolor gli spasimi,urli di rabbia, udrete,
e risa ciniche!
E voi, piuttosto
che le nostre povere gabbane d'istrioni,
le nostr'anime considerate,
poich é siam uomini
di carne e d'ossa,
e che di quest'orfano mondo
al pari di voi spiriamo l'aere!
Il concetto vi dissi...
Or ascoltate com'egli è svolto.
Andiam. Incominciate!

それゆえ本物の人間がお互いを愛し合う姿をご覧
た
だ
き
ま
し
ょう
ご
覧
い
た
だ
き
ま
し
ょう 憎しみの悲しい結末を！
嘆きの苦しみを 怒りの叫びをお聞きください
そして皮肉な笑いを！
そして皆様方 決して私ども役者の醜い衣装に惑わ
さ
れ
る
こ
と
な
く
私どもの魂のことを考えて頂きたいのです
なぜなら私どもとて肉も血もある人間でございます
そしてこの見捨てられた世界の空気を皆様方と同じ
ように呼吸しているのですから！
劇のコンセプトは申し上げました
それではご覧いただきましょう
さあ！開演です！

G.ロッシーニ作曲 歌劇「セヴィリアの理髪師」より 俺は町の何でも屋

Largo al factotum della città.
Presto a bottega, che l'alba è già.
Ah, che bel vivere, che bel piacere
per un barbiere di qualità!
Ah, bravo Figaro! Bravo, bravissimo;
fortunatissimo per verità!
Pronto a far tutto,
la notte e il giorno
sempre d'intorno, in giro sta.
Miglior cuccagna per un barbiere,
vita più nobile, no, non si dà.
Rasori e pettini, lancette e forbici,
al mio comando tutto qui sta.
V'è la risorsa, poi, del mestiere
colla Donnetta col cavaliere
Ah, che bel vivere, che bel piacere
per un barbiere di qualità!
Tutti mi chiedono, tutti mi vogliono,
donne, ragazzi, vecchi, fanciulle:
Qua la parrucca Presto la barba
Qua la sanguigna Presto il biglietto
Figaro ... Figaro ...
Ahim è, che furia! Ahim è, che folla!
Una alla volta, per carità!
Figaro son qua Figaro là
Figaro su, Figaro giù
Pronto prontissimo
son come il fulmine:
sono il factotum della città.
Ah, bravo Figaro! Bravo, bravissimo;
a te fortuna non mancherà.

俺は町の何でも屋だ 道をあける
もう夜が明けた 店へ急ごう
なんと素敵な人生 なんと素晴らしき幸せ
腕のいい理髪師にとってはな!
ああ! プラーヴォ フィガロ 最高だ!
俺はなんて幸せな男なんだ
まったくもって俺は幸せな男だ
準備は万全 仕事は豊富 なんでもござれ
昼も夜もいつでも町にいる
一日中この街にいるのさ
床屋にとっちゃこれ以上の暮らしはない
こんな最高の暮らし以外ありえない
カミソリ 櫛 メスそしてハサミ
俺に使われるためにすべてここにそろっております
こいつらがあればあとは仕事をやるだけ
お嬢さんでも 騎士の方でも
ああ! なんて幸せな人生 なんと楽しい!
腕のいい理髪師にとってはな!
みんなが俺を呼ぶ 俺を必要としてくれる
ご婦人から 坊やたち ご老人に
お嬢ちゃんたちまで
こっちじゃカツラ あっちで急いで髭剃り
こっちで止血 急いで手紙を・・・
「おい、フィガロ!」「フィガロ」「フィ・・・
あいよ! 忙しいったらありゃしない
お願いですからお一人ずつにしてください
「フィガロ」はい! 「フィガロ」ただ今!
「フィガロはあっちよ!」「次はこっち」
「上に」「下に」わかりましたよ
どこでもすぐに参りますよ!
凄いでフィガロ 最高だフィガロ
間違いなく最高の幸せ者だ
俺は町の何でも屋だ なんでもござれ!

G.ヴェルディ作曲 歌劇「ドン・カルロ」より 私の最期の日が来ました

Son io mio carlo	私です カルロ様
Uscir tu dei da quest'orrendo avel.	あなたは一刻も早くこんな墓場から出るべきだ
Felice ancor io son se abbracciar ti	もう一度あなたを抱きしめられるのなら
poss'io!	私があなを救った!
lo ti salvai!	永遠の別れを申し上げなければ...
Convien qui dirci addio!	親愛なるカルロ
Per me giunto è il d'ì supremo,	私の最期の日が来ました
no, mai pi'ù ci rivedremo:	もう二度とお会いすることはないでしょう
ci congiunga iddio nel ciel,	神が天国で再会させてくれることでしょう
ei che premia i suoi fedel'.	忠実であった我らへの報いとして
Sul tuo ciglio il pianto io miro:	あなたの目が涙で濡れている
lagrimar cos'ì, perch'è?	なぜ泣いているのです?
No, fa' cor, l'estremo spiro	あなたが泣く理由など無いのです。お気を確かに
lieto è a chi morr'à per te.	あなたのために死ぬ最期の時まで私は幸せなのですから
O Carlo, ascolta, la madre t'aspetta	カルロ様お聞きください お母さまがお待ちです
a San Giusto domani; tutto ella sa...	明日 サン・ジュスト修道院で 全てをご存じです
Ah! la terra mi manca... Carlo mio,	ああ!意識が薄れていく... カルロ様 私の手を
a me porgi la man!...	私の手を握ってください
lo morr'ò, ma lieto in core,	私は死にゆきます しかし心は満たされています
ch'è potei cos'ì serbar	スペインの救世主となるあなたのことをお護りすること
alla Spagna un salvatore!	ができるのですから
Ah!... di me... non... ti... scordar!..	ああ!私のことをどうか忘れないでください!

Regnare tu dovevi,	あなたは支配をしてください
ed io morir per te	そして私はあなたのために死にます
Ah, lo morr'ò, ma lieto in core,	私は死にゆきます しかし心は満たされています
ch'è potei cos'ì serbar	スペインの救世主となるあなたのことをお護りすること
alla Spagna un salvatore!	ができるのですから
Ah!... di me... non... ti... scordar!..	ああ!私のことをどうか忘れないでください!
Ah! la terra mi manca...	ああ!意識が薄れていく...!
la mano a me, a me...	私の手を握ってください 私の...手を...
Ah! salva la Fiandra...	ああ!どうかフランドルをお救いください
Carlo, addio,...ah! ah!	カルロよ 永遠にお別れです